

# KOLA

岸和田  
オリエンテーリング協会  
・編集部・〒596  
岸和田市小松里町477-2  
1990・横田 実  
第84号 平成2年11月2日

## 黒髪山くろかみやま その周辺 OLトレーニングコース

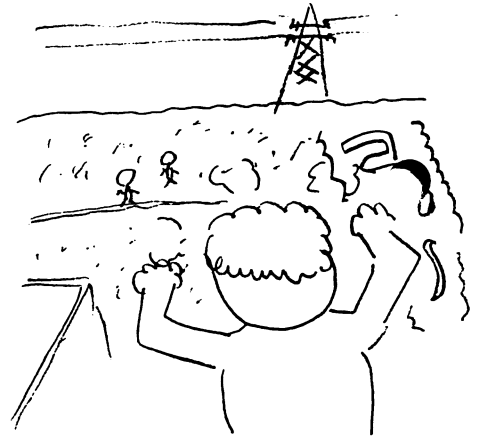


# 黒髪山OL「おっちゃんに怒られたよ〜」記

BY 横田

今回は、奈良ということで、ドライブをかねて自動車で行きました（往路は阪奈道路を使って2時間、復路は鍋谷峠を使って4時間かかりましたけど）。僕にとって初体験のテラインである「黒髪山」（白髪の人にはだめなのかな？）。奈良女子大OLが、セッティングをしたらしく、可愛い女子大生がいっぱい。この大会は奈良市民体育大会の一環ということだったので、家族連れが大半でした。みんな、コースの途中でお弁当を広げるのじゃないのかな？

コースとしては、まあまあでしたが、僕は短パンで走り回ったので、またしても足が傷だらけ。尾根を取り違えたりで約15分のロスをしています。走りづくめだったので辛うじて辻村さんに勝利しました。まず、マップまでダッシュをしたものの、距離が異常に長く、ここまでで体力を消耗。刑務所入口からは、道沿いに3番までをとる。4番で住宅地の北から行って尾根を1つ間違え、10分ほどうろろろしてました。5番をとるときに駐車場のフェンスを地図上の「立入禁止の境界線」と勘違いしたため緑の崖を登って「铁塔」へ



そこからは7番の番号違い以外は迷わず

ゴールできました。（最後の坂はしんどかった）  
辻村さんが奈良女子OLC（SINCE 1989）を指導しているということだったので、色々今回の反省を聞かせていただきました。実は、女子大生と話しをしたくて、彼女らの会話に無理に割りいただけなんです。では、奈良女のために反省を挙げてみましょう

まず、到着した早々「更衣室（荷物置場）」「トイレ」の場所がわからなかった。これぐらい表示が欲しいですね。「クラス分け」がどうなっているのか不明だった（説明書に書いておいてください）。マスターマップ方式だったのだが、スタートをしてからマスターマップまでの位置がわかりにくい。「マップまで何メートル」の表示は欲しいね。テープ誘導をしていたが、階段に取り付けてあったので、もう少しで変な方向に行くところだった。そして、三角マーク（スタート位置）がどこかの明示もほしい。マスターマップの位置ではなく「刑務所入口」だったのが最後まで僕は気づかなかった。Aクラスでは、7番ポスト（35番）を「38番」とマスターマップに記入していた。ついでにこのポスト（7番）はAには無用の長物である（誘導としての意味がない）。Bクラスでも何かミスをしていましたね。ま

た、家族参加が多いのだから、グループだけでも表彰式をすべきだと思うが……………

とっておきは、5番ポスト(鉄塔)の近所のおじいちゃんが、猛烈に怒っていたということ。小道が西側についているのに気づかず、僕を先頭に何人もの人がその人の敷地内?を通過していたからである。森善重氏がそのことをOLを棄権してまで、本部に知らせてくれたので、すぐに主催者がいって謝っていたが、通りそうなところの地主には事前に話しをしておくべきだろう(おじいちゃん、すいません)残念ながら僕は1番に通過したので、この事実を目撃していません

いろんな不備がありましたが、すべてのことは、「かわいい女子大生が関わっているから」ということで僕は許しちゃいます 皆さんも寛大な心をもってね水に流しましょうね だけど、次回はもう一歩の進歩を望みます

さて、奈良女子OLCの上回生は運営を手伝っていて、1回生はAにエントリーしてスタートしたのですが、1時半現在、ゴールしたものはわずかに2名。ゆうに3時間は経過しています。地元のテラインなのですからもう少しなんとかなりませんか 全員無事ゴールしたのでしょうか

今回の僕たちの成績というと、吉村くんが前日に38度の熱を出していたにもかかわらず2位と健闘(本人は、走っていたら1位はだったと豪語している) 堺井くんは、初の1位(このクラスの参加者は1人だった?) 他府県まで、荒し回る郷荘中学野外活動部に栄冠あれ

成績速報 (午後1時30分現在)

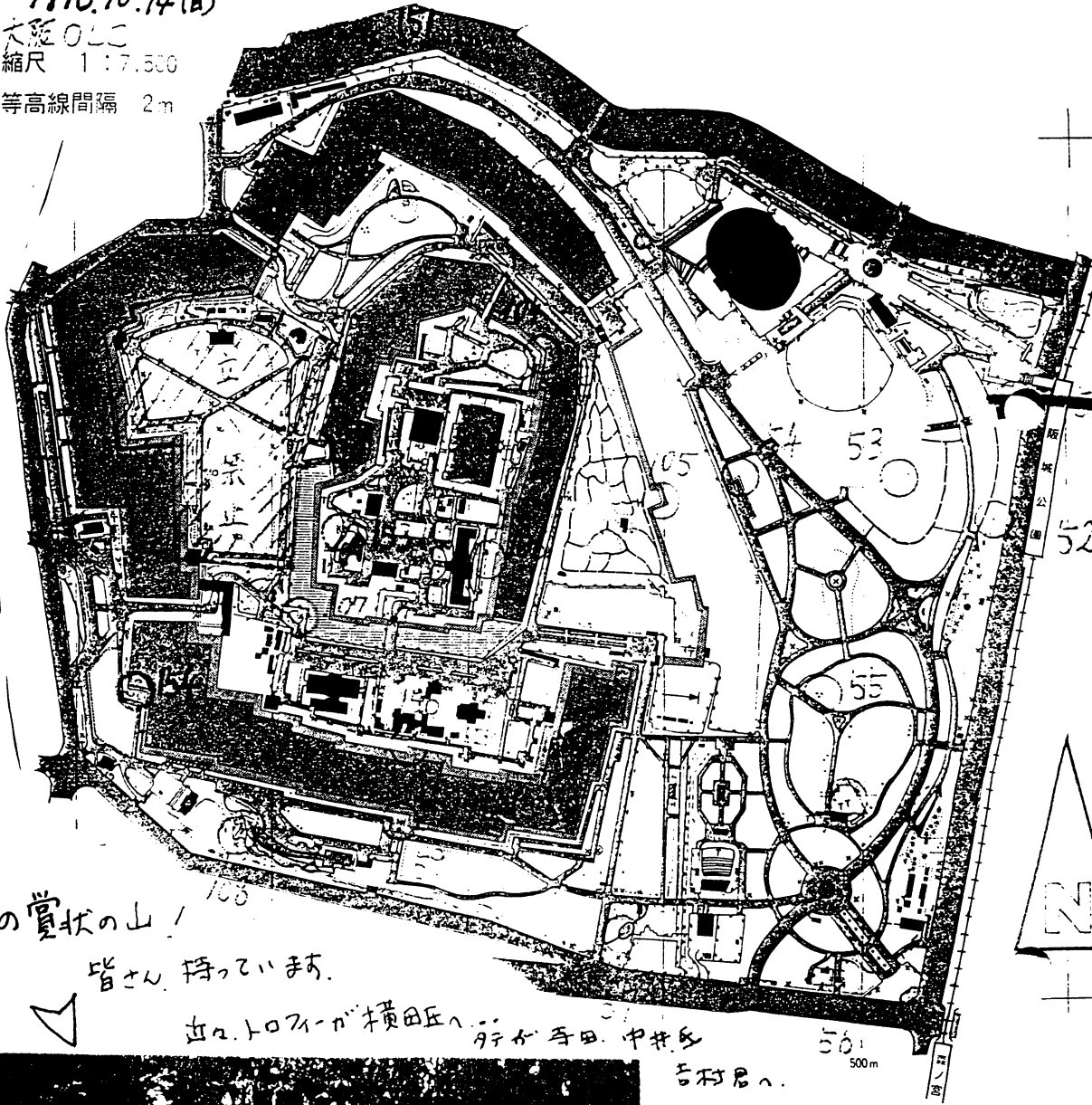
AS	1位 横田実	58分16秒	AG	1位 吉原	1時間36分59秒
	2位 辻村修	1時間08分22秒		2位 青木	3時間00分10秒
	3位 塚本進也	1時間22分50秒		3位 丸山	3時間00分57秒
BS	1位 上野	1時間51分55秒	BG	1位 野口	1時間25分57秒
				2位 水富	1時間48分08秒
				3位 奥原	2時間24分48秒
NIS	1位 西岡泰彦	58分29秒	NIG	1位 大森健市	1時間29分27秒
	2位 吉村耕治	1時間23分04秒		2位 森 義貞	1時間30分31秒
	3位 高橋直衛	1時間34分20秒		3位 矢野朋子	1時間31分21秒
N2S	1位 堺井和孝	2時間17分45秒	N2G	1位 小池博英	1時間43分25秒
				2位 和田恵次	2時間12分25秒
				3位 森 和子	2時間26分02秒

# 大阪城公園

ザ・コンペ 第5戦  
1990.10.14(日)

大阪のしこ  
縮尺 1:7,500

等高線間隔 2m



この賞状の山!

皆さん 持っています。



このトコが横田丘



ザ・コンペの最終戦が終了。  
KOLAが、Aクラス、Cクラス(即座)  
Gクラスと、X山Y山 総合優勝!

横田丘 いろいろ!

トコとトコがあつた?  
包があつた!

とこのも、皆が、横田丘のトコと  
トコがあつた。と、おぼろげに

## ザ・コンペ最終戦“大阪城”何とかもった天気の中、爽やか汗かき歩記。

えす・えぬ

10月14日曇り時々雨

第一戦“暗峠”猛暑。第二戦“浜寺公園”激暑。第三戦“服部緑地”酷暑。第四戦“大泉緑地”豪雨。と、いった悪条件の中を走り抜いてきて、せめて最終戦くらいはすきとおった秋空の下を、との願いも空しく目を覚ますとすごい雨。おまけに地響きのするような雷。空を見上げて「またか」とつぶやく。しかし我が愛車“ダックスフント”（寺田氏の命名）で出発する頃には小雨に。日曜日・雨・御堂筋パレードに伴う交通規制の三拍子？のおかげか道路はがら空き、高速道路を70Km/h以下のスローペースで走っても寺田氏宅から30分くらいで大阪城に到着。早すぎるからと車の中でしばらく一服。小雨のまんま雨は降り続く。駐車場から集合場所まで歩きはじめる、途中でポスト発見、それもかなりの数。一ヶ所なんかは一目5個「おかしい、ダミーかな？」と話ながら到着。第一受付を済ませて、受け取った説明書でもうワンステージあり、そのためのポストであるということが判明。しかしいくつかは我々にも関係有るだろうと推理。前回まで1勝3敗、負けは決定しているが今回はなんとか勝って“有終の美”といきたいものだ。娘にカツをいれると、娘もその気らしく珍しく燃えている。スコアOL。制限時間80分。総ポスト数21。200点満点。

10時25分我がチーム、スタート。

この時点で雨はあがっているが、相変わらずどんよりした空。今日はわりあい足が軽い、途中で娘とどちらへ行くか相談、娘の提案通りのルートに決定。152～105の間で横田氏と、105～104へ戻る間に（大阪城は堀のおかげで戻るところも）寺田Fとそれぞれ遭遇。グループ総合で優勝が決定している寺田Fと、2位だけど今回だけは何とか雪辱をといきりたつ我がF。5分遅れてスタートしたという、彼等に追いつかれて「また負けか」と娘に言う。と、「勝負は、最後までわからん」と叱咤激励され気を取り直して走る。

修学旅行中の学生の横を、とうもろこしを焼く香ばしい臭いのする露店の横を、脇目もふらず、ただひたすらポストをめざして走る～。走る～。

最終ポスト56を取って11時20分ごろにゴール、所要時間55分弱。

久しぶりに爽やかな汗である。これで11時25分までに寺田Fがゴールしなければ、我がほうの勝ちになる。持参したビールを飲みながら彼等を待つ。

時計は25分を過ぎ我等の勝ちが決定。あそこで合ったのにどうしたのか？他のルートを行って行ったのか？どうせ勝ちが決まっているのだからと“有終の美”を譲ってくれたのか？色々思いめぐらせているうちに、彼等もゴール。時計は30分か？

所要時間60分弱。話を聞くとルートは我等と同じ、走るより歩くほうが多かったという。いつもならこれで帰るところだが、最終日で総合の表彰があるということで持参した弁当を食べる。お茶代わりに飲んだ2缶目のビールの酔いもあってしばしウトウトする。「お父さん、私等2位になっている」娘の声で起きる。寺田Fに勝ったのにどうして！寝ぼけまなこで速報所へ、1位のところに女性の名前が、しまった！“有終の美”は飾れなかった、残念である。

結局この方達は表彰の時には居られず、お顔は拝見できずじまいである。

足の怪我にもめげず喘ぎ喘ぎ走った、一戦。脳味噌が沸騰しそうな暑い中を走った、二戦。歯の痛さをこらえて走った、三戦。流されそうな大雨の中を走った、四戦。今にも泣き出しそうな曇り空の下を快調に走った、最終戦。

よくぞ頑張りました。最後に寺田強氏。横田氏。寺田豊君。寺田悟君（三戦）吉村君。堺井君（四・最終戦）両君はGOLC。お疲れさんでした。

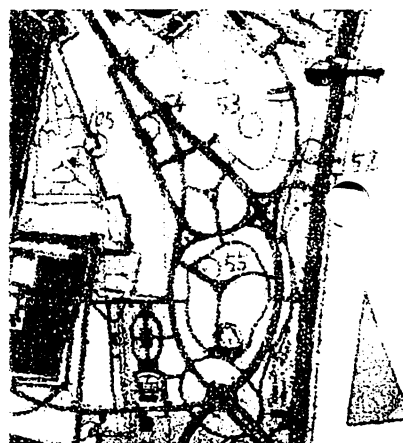
# ザ・コンペ 第5戦 最終決戦 於 大阪城

BY 横田

いよいよ、大阪OLC主催の「ザ・コンペ」も、この大阪城で最終です。しかし、今日は雨。前回の大泉緑地のときは、とんでもない大雨でしたが、今回は、適度なお湿り程度だったので助かりました。朝の雷で叩き起こされたときはどうなることかとおもいましたがね。

10日に行った「奈良市民OL大会」で右足首を痛めてしまい、今日はテーピングで固定しての出走。まあ、コンペに全部に出ているのは、商品目当ての岸和田OLAの面々か、暇な郷荘中学ぐらいだから、総合優勝は動かないので「歩いて行こうかな」と軽く考えていましたが…

出発の声がかかると、だめですね 途端に走り出してしまいます。途中、足が痛くなったのでスピードは落ちましたが、こんなものでしょう。9月にパーマネットコースで走ったときは、42分くらいだったので、今日のタイムはまずまずです。大部分の人は北側に向かって走り出したようですが、ぼくは南側の(56)へ向いました。回った順番は(スタート)(56)(57)(58)(59)(108)(154)(107)(155)(153)(106)(104)(152)(151)(101)(102)(103)(52)(53)(54)(105)(55)です。しかし、実際には59番を見落してしまい取らなかったのですが、ちょっと105番のポスト(梅林の石垣)がネックですね(游さん曰く『オプションルツアーだね』)。また、106番から104番の間の石垣に「階段」がついている(中井さん曰く) そうなのだが、気づかず遠回りをしてしまったようです。



さて、それではKOLAの参加者が待ちに待った総合成績の発表です。朝、受け付けを〇と、去年まであった盾やらトロフィーの姿がない。「今年はないのかな」と中井さん・寺田さんに話したら、目を血走らせてぼくにくっついてかかってきました(ふえーん〜 そんなに苛めなくてもいいでしょうに)。まず、今回の成績発表から、中井Fmは、なんとか寺田Fmに2勝3敗。しかし、他のチームに1位は持っていかれてしまいました。ぼくも速報は4位ながら大阪OLCを抜いての表彰だったため「2位」を獲得。堺井君は105番を取り忘れたため、惜しくも4位で無冠に終わってしまいました。ではでは、総合発表を。Aクラスの1位は、3年連続で

ぼく、横田実。Cクラスは吉村耕治 Gクラスは寺田Fm. すったもんだであるのかないのか  
 言い合っていた盾は、今回もこれで、みんなから苛められ一は、Aクラスの優勝者にのたしても寺田氏からいちゃも点満点換算)では、ぼくが9当然、制限時間の長いGクラスが高いのだからトロフィーを、だれがあげるもんか



ありました(後日郵送)。なくてすみます。トロフィのみ授与。これに対して、まんが。総合得点(100015点、寺田Fが920点、スが有利なのだが、「点数寄越せ」とのたまわくハ

『参加することに意義がある』とは、まさにこのザ・コンペのこと。全部に出場すれば無条件で盾を貰えるうえ、Aクラスならトロフィーがある。しかし、このことはあまり知られていません(1度も大阪OLCから公表されていないので貰えるかどうか最後までわからない)。次回もするのなら、是非大々的に宣伝をして、全回参加者を増やしてください。クラス別にするのなら各クラスに優勝盾かなんかもほしいですね

商品につられるKOLAのメンバーからの願でした。

## 結果速報(第5回 大阪城のみ)

A	1位	沖浦徹二	200点	39分02秒
	2位	天野善美	200点	44分39秒
	3位	游賢忠	196点	45分40秒
	4位	横田実	195点	43分06秒

※実際の表彰は大阪のOLCを除いて行なわれた

B	1位	吉戒武津男	200点	53分58秒
	2位	頓宮秀徳	200点	56分00秒
	3位	大西良則	200点	56分59秒

C	1位	吉村耕治	200点	1時間00分39秒
	2位	中西周次郎	200点	1時間10分50秒
	3位	仲川晋輔	190点	1時間01分42秒
	4位	堺井和孝	190点	1時間11分43秒

G	1位	原久美子	200点	53分09秒
	2位	中井Fm.	200点	54分21秒
	3位	寺田Fm.	200点	58分28秒

## 愛犬“チロ”の死。

1990年10月23日“チロ”が死んだ。

今春、狂犬病の予防注射を受けてから体調を崩していたのだが、1ヶ月程前に腹水を抜いてもらってから散歩でも走るくらいになっていたのに、4～5日前から水も餌もいっさい口にしなくなり、22日の夜にはもう虫の息であった。

このまま死んだのでは寒くてかわい<sup>い</sup>ぞだろうと、バスタオルにくるんでやった。

23日朝起きると死んでいた、時計は6時15分。

上の娘はテスト勉強のために朝早く起きていたらしく私の声で降りてきた。

下の娘を起こしに上がる、いつもなら一度や二度では起きてこないのに「チロが死んだ、箱に入れるから最後の別れをしてやれ」というと一発で起きてきた。

妻と二人の娘の泣く声が聞こえる。

私の誕生日に私の車の下に迷い込んできて「これも何かの因縁だから」と飼ってやって12年。下の娘が3才位だったと思う、娘と同じように成長してきたのだから3人目の娘みたいなものである。

犬の歳で12才と云えば長生きの方で天寿を全うした訳だが、やはり犬とはいえ

身内の死は悲しい。<sup>ながれき</sup>流木の斎場へ葬りに行く、やはり妻は涙ぐんでいた。

今日24日朝起きる「ああそうか、チロの散歩はもう行かなくていいんだ」

ずっと使っていた食器に炊きたての御飯を入れ線香を立て、水を汲んでやり冥福を祈る。“合掌”

えす・えぬ





# 天野山はスポーツの秋だった

by 横田

昨日も本日も晴れ渡り、まさに絶好のスポーツ日より。昨日は、ソフトボール・テニスと暴れ回りからだ痛。そして、今日のOL。瀬戸さんに聞かされて恐る恐るいったのだが元気のいい大学生が、きびきび動いていました（さすが体大生）。

クラス分けは、「個人」と「グループ」のみ。しかも、同一コースと聞いて「今日は個人クラスには楽なコースだろうな」と思いつつ、受け付けを終了。地図は『女人高野の里12』のパーマネントコースの地図をそのまま使い、マスターマップ方式という極く単純なもの。しかし運営は、トランシーバで一各要所と連絡を取りつつ行なうというかなり凝ったものでした。

「可愛い女の子がいなかったら、助言は、せえへんで」と僕が瀬戸さんにいった言葉を知ってか知らずか、3回生の（僕好みの子）が親しげに話し掛けて下さいました（しまった！名前と皿を間違えてしまった）。

これで、頑張る励みが出来たというもの。『君に僕の優勝をプレゼントするよ』という言葉が胸に秘めたまま、ゼッケン「1」をつけて、ヒストルの音と同時に猛然とダッシュ。しかし、地図の横に赤ボールペンがなく、いきなりずっこける。



今回の参加者は、17チーム（個人を含む）だったそうです。幼児連れ、犬連れ、はたまた妊婦さんまでいて、最初はコースを甘く見ていたが、それもマスターマップまで。なんと1500分の1の地図を端から端まで使っている。ポスト数も9つと少なめだったので、レックがかなり長く感じた。グループは大丈夫なのだろうか、とってしまう。しかし、ポスト自体は殆どが道の分岐に付けてあり、初めての人も迷うことは少なかったのじゃないだろうか。ただ、

位置説明がなかったのが不親切だったかな。特に、8番ポストは見張らし台のてっぺんに付いていたので、探すのに苦労しますよ。

ぐるっと一周りして帰ってきた後、結果速報の出し方をスタッフに説明して、ベンチで一眠り。なかなかのタイムだったと思いつつ、暫く熟睡していました。起きだして弁当を食べて、ようやくグループの人達が帰ってきました。表彰式までには、かなりのグループが帰還。ぼくは、吉戒さんを押え、1位のカップを獲得。副賞もスポーツタオルと豪勢でした（グループにはトロフィーが授与）。「こんなにいい賞が出るんだったら、我がKOLAの某氏も来たいというだろうな」と浅はかな考えが脳裏によぎる。そして帰る間際、（僕好みの子）が「おめでとうございます」と優しいお言葉を掛けて下さいました。今日は1日ハッピー気分です。終わるん

結果速報 (午後1時30分現在発表分のみ)

個人	順位	氏名	時間	グループ	順位	氏名	時間
	1位	横田 実	56分30秒		1位	坂本 雅夫	2時間20分02秒
	2位	吉戒武津男	1時間09分28秒		2位	河津喜代典	2時間55分30秒
	3位	愛川 哲也	1時間26分14秒		3位	鳴海 満	2時間55分40秒
	4位	上野 栄三	1時間46分42秒		4位	松田健・保子	3時間10分58秒
	5位	向井 兵農	2時間13分01秒				



次回ミーティングは  
~~いつもの「みき」~~  
ではなく  
望年会 (場所は未定)  
で?

12/16(日) 5~

体力測定も  
あります

テスト、く...



受験、く...



く	1
く	3

眠いかなのよ



勉強、く...



